

島本音楽協会第 186 回コンサート

島本アカデミー室内合奏団

結成記念演奏会

～島本音楽協会創立40周年を記念して誕生した～

イタリアとドイツのバロック音楽の頂点を聴く

W.A. モーツァルト:ディベルティメント第1番 ニ長調 K.136

J.S.バッハ:ブランデンブルク協奏曲 第5番 ニ長調 BWV 1050

ソリスト: Vn 村瀬理子、Fl 上田真実、Pf 林道子

ヴィヴァルディ:ヴァイオリン協奏曲集 和声と創意の試み「四季」op.8 全曲

ソリスト: Vn 村瀬響

村瀬理子

上田真実

林道子

村瀬響

島本アカデミー室内合奏団

島本音楽協会に常設の素晴らしい室内合奏団が誕生しました。その名称は「島本アカデミー室内合奏団」です。私たち島本音楽協会が常設の合奏団を持つことについて熟考を重ねました。合奏団結成の意義とそれが果たす役割について深く考察しました結果次の結論に達しました。＜島本音楽協会が40年間積み上げてきた歴史の重みとその経験と実績を活かし、島本の「音楽あふれる町づくり」や今後の音楽文化の継続発展にこの合奏団の活動が少なからず貢献するであろうことを確信する＞これが結成の原動力となったのです。多くの皆様と一緒にこの新発足の「島本アカデミー室内合奏団」を末長く維持発展させていきたいと思っています。どうぞよろしくご支援ご協力をお願い申し上げます。

2019年

9月1日(日)

開場 13:30

開演 14:00

島本町ふれあいセンターケリヤホール (島本町桜井3-4-1)

当日会員券 ¥2,500 会員は会員証でご入場ください

*入場券(当日会員券)は阪急水無瀬駅前「長谷川書店」、広瀬1丁目「小林酒店」、事務局・役員等にて取り扱っています。

*お問い合わせ(事務局) / TEL:075(962)1464 (藤原)

主催: 島本音楽協会 / 後援: 島本町・島本教育委員会



～イタリアとドイツのバロック音楽の頂点を聴く～

ヴィヴァルディ: ヴァイオリン協奏曲「四季」 op. 8

ヴァイオリン協奏曲集「和音と創意の試み」作品8として12曲から成り、その作品1から4を「四季」としています。「四季」には、各曲にソネット(14行詩)が記されており、描写音楽として成り立っています。ヴァイオリン協奏曲集の名の通り独奏ヴァイオリンが主役の素晴らしい協奏曲です。先のソネットの例として作品 0P.8-4「冬」のラルゴ(遅い楽章)部分に、「雨」と題して次のように記されています「火の傍で静かな満ち足りた日々を過ごす。外は雨ですっかり蒸れそぼっている」と。各楽章に、このような素晴らしい表題が記されており、三世紀後の現在でもこれらの音楽を聴く時に大きな喜びを与えてくれています。(1725 年イタリア)

J.S.バッハ: ブランデンブルク協奏曲 第5番 二長調 BWV 1050

200 年間にわたり多数の音楽家を輩出したバッハ一族の中の最大の音楽家。そしてバロック音楽の頂点に立つ作曲家として、「大バッハ」と呼ばれる。歌劇以外のあらゆる分野に作品を残した。

ブランデンブルク協奏曲は、1721 年ブランデンブルグ辺境伯クリスチャン＝ルードヴィヒに捧げられた六曲の協奏曲が通称ブランデンブルク協奏曲となっています。現在では、バッハの協奏曲の中でも特に有名であり、多彩な楽器編成で愛好者が特に多い名曲です。

島本アカデミー室内合奏団



村瀬理子(ヴァイオリン)

京都市立芸術大学音楽学部卒業後、旧ドイツ国立ヴェルツブルク音楽大学に留学。帰国後は旧アンサンブル・アート・オブ・フーガのコンサートマスターに就任。バッハのカンタータ全曲演奏会、管弦楽組曲全曲演奏会、ブランデンブルク全曲コンサートなどにソリストとして出演。

現在京都新祝祭管弦楽団のソロ・コンサートマスターを務め、神戸女学院音楽学部、母校京都市立京都堀川音楽高校、滋賀県立石山高等学校音楽科で非常勤講師を務める。



上田真実(フルート)

大阪府島本町出身。10 歳よりフルートをはじめる。同志社女子大学学芸学部音楽学科演奏専攻管弦打楽器コース卒業。成績優秀生としてコンチェルトソリストに選出され、同大学管弦楽団とライネッケのフルート協奏曲二長調第 3 楽章を共演。同大学から推薦を得て第 8 回関西の音楽大学オーケストラ・フェスティバル、第 60 回

関西新人演奏会、第 45 回日本フルート協会新人演奏会に出場。第 4 回堺管打楽器コンクール木管部門第 1 位、一般の部グランプリ受賞。第 20 回長江杯国際音楽コンクール管楽器部門第 2 位。第 27 回日本クラシック音楽コンクール全国大会入選。第 28 回同コンクール全国大会第 5 位。東京国際芸術協会より奨学金を得てウィーン国立音楽大学アカデミーに参加。ギゼラ・マシャエキ・ベアに師事。教授より推薦を得て選抜コンサートに出演。ニース夏期国際音楽アカデミーにてクロード・ルフェーヴル、浜松国際管楽器アカデミーにて工藤重典、京都フランスアカデミーにてジャン・フェランディスに師事し、それぞれディプロマを修得するなど、国内外で研鑽を積む。フルートを沖村朋子、市川智子、沼田陽一、上野星矢、増本竜土の各氏に師事。



成川昭代(チェロ)

大阪音楽大学短期大学部卒業。京都・バッハ・ソリストのバッハ・カンタータ全曲演奏シリーズに参加。主にバロックや室内楽を中心に活動、またポピュラーのアーティストとの共演も多い。チェロカルテット・ピンテージ、大阪チエンバーオーケストラ メンバー。関西室内楽協会会員。



村瀬 響(ヴァイオリン)

京都市立京都堀川音楽高等学校、桐朋学園大学カレッジ・ディプロマコース卒業。2012 年秋に青山音楽記念館バロックザールにて『ヴァイオリンソロデビューリサイタル～francais～』を開催し各方面から高い評価を得る。2015 と 2016 年にはオーケストラと共演しソリストを務める。またアルゼンチンタンゴにも意欲的に取り組み、2013 年～2015 年まで本格派タンゴ集団「アストロリコ」のメンバーの一人としても活躍。これまでに戸上和代、木村和代、西和田ゆう、森下幸路、原田幸一郎の各氏に師事。アルゼンチンタンゴを麻場利華、門奈紀生の各氏に師事。現在は後進の指導にあたり共に『シンフォニア・アルシス OSAKA』、SonyMusic『STAND UP! CLASSIC』のコンサートマスターを務める。テレビなどメディアでも演奏活動を活発にしている。猫と熱帯魚が好き。



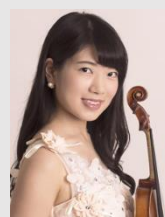
林 道子(ピアノ)

愛知県立芸術大学卒業、同大学院修了。読売推薦演奏会に出演。大阪と京都でリサイタルを開催。関西フィルハーモニー管弦楽団と共演。福井尚子、大堀敦子、故 E.F.ザイラー、成川ひとみの各氏に師事。



釜村亜希(チェンバロ)

同志社女子大学学芸学部音楽学科ピアノ専攻卒業。ハンガリー国立リスト音楽院留学。第 5 回イタリア・ピサピアノコンクール第 2 位。2016 年 3 月、ポーランド シレジアフィルハーモニー管弦楽団と共演。ソリストとして多くのコンサートに出演。いずれも高評を博す。(故)伊達純、ファルバイ・シャンドル、佐藤明子の各氏に師事。



久津那綾香(ヴァイオリン)

兵庫県立西宮高等学校音楽科を経て京都市立芸術大学音楽学部を卒業。これまでに岩永美知子、谷本華子、大谷玲子、池川草子、高木和弘、佐藤一紀の各氏に師事。現在とどろきピアノ教室、第一楽器(株)ヴァリアートアンサンブル講師。宝塚演奏家連盟会員、演奏グループ赤とんぼ所属。2017 年より diversEnsemble ゲストコンサートミストレスを務める。

<合奏団メンバー>*...コンサートマスター

【ヴァイオリン】

村瀬理子*、村瀬響*、稲庭真理子、久津那綾香、古川葵、岸田謙太郎

【ヴィオラ】奥村英樹、井尻悠吾 【チェロ】成川昭代

【コントラバス】西口由子 【チェンバロ】釜村亜季

